

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2022-21 川崎病および小児多系統炎症性症候群(MIS-C/PIMS)における診断、治療に関わる 多機関共同研究
当院の実施責任者及び 職名	小児科部長 大河原 一郎
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	浜松医科大学 小児科学講座 宮入 烈
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2025年3月31日
対象期間（西暦）	2019年4月1日～2023年3月31日
研究の目的	<p>川崎病は無治療の場合は約3割に心臓の冠動脈に異常が発生する病気です。ガンマグロブリン(IVIG)を中心とした治療法によってその発生は大幅に減っています。より良い治療を求めて現在もさまざまな検討が行われていますが、IVIGに反応の悪い患者さんに対する最善の治療法については不明な点が多い状況です。</p> <p>また新型コロナウイルス感染症に罹患した後に川崎病類似の症状を呈する小児多系統炎症性症候群（multisysteminflammatory syndrome in children (MIS-C)/pediatricinflammatory multisystem syndrome (PIMS)）という新しい疾患概念が提唱され、川崎病との病態の相違、治療法について議論されています。このような背景から今回の研究の目的は当院および小児科病棟を有する静岡県内の施設における多数の川崎病およびMIS-C/PIMS患者の臨床情報を集めて、発症や診断に関わる要因を探り、より良い診断や治療に結びつけることです。</p>
研究の内容	<p>川崎病及びMIS-C/PIMS患者もしくは疑われた患者さんの臨床情報を収集して解析する観察研究です。</p> <p>専用のエクセルシートに、個人情報削除して患者さんの診療情報を記入し、2020年改訂川崎病急性期治療ガイドラインに沿った治療を行って、その効果判定、効果予測等を行います。</p>
個人情報の取扱い	<p>データの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。</p> <p>特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>

問い合わせ先
(拒否等受付窓口)

【研究担当者】

所属：静岡赤十字病院 小児科
氏名：大河原 一郎
住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2
電話：054-254-4311